

水道料金改定の検討状況に関する説明会（出張型）（実施結果）

1 市民説明会の開催状況（参加者合計 63 名）

開催日	時間	会場	参加者数
令和 7 年 9 月 22 日（月）	19 : 00～20 : 30	豊北総合支所 大会議室	63 名

2 意見・質問に対する局の考え方（15 件）

No. （説明資料 該当頁）	意見・質問	局の考え方（回答・対応）
1 水道料金について		
1 (P4)	更新等の費用を真っ先に市民に負担を求めるのは疑問がある。下関市には全国的にもトップクラスの売り上げを誇るボートレース事業がある。水道料金の値上げを防ぐために、上下水道局から市議会や市のトップへ要望をしたかどうか。山陽小野田市は山陽オートレースの売り上げを財源として、一般会計から補填を受けている。強く市長に、お願いされたい。	独立採算の原則から、水道事業でまずはしっかりと経営努力を行い、それでも不足する費用を賄うため、水道料金の改定を検討している。したがって、市へそのような要望をするのは、現時点では考えていない。一般会計からの繰入は他都市でも事例はあるが、限定的なものであると認識しているため、上下水道局としては、市にお願いする予定は無いが、意見は次回経営審議会に報告する。

No. (説明資料 該当頁)	意見・質問	局の考え方（回答・対応）
2 (P4)	独立採算の原則については理解出来るが、人口が右肩上がりであった時代の考え方で、人口が減少している現在では見直しが必要な時期に来ていると思う。説明を聞く限り、全国的な問題となっている老朽化について、補助金や企業債の借入れで対応とあったが、低利で借入れが出来ているのか。また、その他の財源は考えられないのか。水道事業の経営が厳しいことは、全国的な問題であるため、相手は国レベルであると思うが、将来的なことを見越して、支援の要望をしてきているのか教えて欲しい。	企業債の借入れについては、民間資金よりも利率が低い公的資金の借入れを行っている。国への支援については、日本水道協会という組織を通じて、国の補助金の拡充や予算の確保を要望している。
3 (P4)	近年、国の物価高騰対策として、国の交付金を活用して基本料金を減額していた。その前にも新型コロナウイルス感染症の影響で、市税かボートレースの利益を活用して、市が独自で水道料金の減額をしていたと思うがいかがか。	過去3回、半年間10%減額を行っており、令和4年度、令和5年度は、物価高騰対策を目的とした国からの交付金を財源として行ったものである。令和2年度に実施した水道料金の減額は、当時はまだ純利益が見込まれていたため実施したものであり、市税やボートレースの利益を活用したものではない。
4 (P9) (P17)	長府浄水場更新事業が莫大な費用がかかることであるが、ボートレースの利益を長府浄水場更新事業の一部に出資してもらえばいいのかなと思う。(意見)	—

No. (説明資料 該当頁)	意見・質問	局の考え方（回答・対応）
5 (P4) (P17)	長府浄水場の更新に莫大な費用が掛かるといった大きな課題があるが、独立採算では限界が来ている。下関市は毎年各方面へ要望をしようと思うので、上下水道局から市長に、水道事業について、国に何らかの支援をして欲しいと働きかけてもらいたい。すぐに答えは出ないと思うが、国に対して要望する項目の中に是非加えていただくように上下水道局には要望したい。（意見）	—
2 水道料金改定（値上げ）の必要性について		
6 (P10)	人口減少に伴う給水収益の減少・老朽化した施設や管路の更新は事前に分かっているはずのことであり、老朽化対策等はこれまでも中長期の計画を立てて実施して来たのではないかと。これらのことに対応するため、10年間で40%値上げが必要とのことだが、料金水準の検討は定期的に行っているはずなのに、14年間料金が変わっていないことに疑問を感じる。赤字が迫って改定が必要とのことだが、もっと早く値上げするべきではなかったのか。	前回料金改定以降、物価上昇率が低く推移していたこともあり、これまでは経営努力によって何とか対応できていた。元々、令和5年度には料金改定の必要性を示していた。新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響もあり、料金改定時期に慎重な判断を要したこともあり、できる限りの経営努力を盛り込み、中長期ビジョンを策定し、最低限必要な改定率をこの度示したものである。老朽管の更新については、事故時の影響度が大きい管から優先順位を付して進めており、今後も計画的に実施していくが、物価高騰等により資金が不足している。

No. (説明資料 該当頁)	意見・質問	局の考え方（回答・対応）
7 (P11) (P21) (P27)	料金改定自体に反対という訳ではないが、経営審議会の委員から 10 年間で 40% の値上げが高すぎるという意見がなかったのが不思議でならない。 (意見)	—
8 (P24) (P25)	水道事業の独立採算に限界があり、また長期的な目線で考えるのであれば、他の自治体との統廃合を検討する必要があるのではないかと。人口が減少している自治体は負担がどんどん大きくなっていくのに対して、都会は安いというのは、おかしい。下関市だけで 30 年・40 年後を考えるのではなく、もっと大きく明るいビジョンが必要なのではないかと。	水道法の改正により、広域連携が推進されている。他県では中小規模の事業体による事業統合の事例が出始めている。山口県内では、事務の共同化による費用削減等の検討を行っているところである。
9 (P11) (P20)	中長期の計画の明細が全く出されていないので、どのように理解すればいいか分かりにくい。今日説明されたことが、中長期の計画でどれだけずれるのか、それくらいの資料にしてもらいたい。令和 7 年度赤字予算ということと、水道管の老朽化（経年化）が約 4 割ということだが、なぜこれが遅滞したのか、これまでは利益が出ていたにもかかわらずなぜ先延ばしにされていたのか。	中長期ビジョンや経営審議会の審議において、ホームページに計画等の数値など詳細なデータを公表しているので、ご確認いただきたい。水道管の経年化については、埋設から 40 年が経過したことを示しているが、今は 100 年持つ管も出てきている。上下水道局では、60 年を目安に更新しているが、高度経済成長期に急ピッチで布設された管を、今の時代に同じペースで更新していくのは困難となっている。したがって、断水した際に影響が大きいものなど、優先順位を付して更新している状況であり、限られた予算の中で着実に進めている。

No. (説明資料 該当頁)	意見・質問	局の考え方（回答・対応）
3 水道料金改定（値上げ）の検討状況について		
10	木屋川ダムのかさ上げ事業が始まっており、その事業費は受益者が負担することになると思うが、この検討状況には反映されているのか。	木屋川ダムのかさ上げ事業の負担については、水道事業への負担が求められていない。
11 (P27)	旧豊北町町時代は安く水道を提供してもらっていた。1市4町の合併のスローガンに「サービスは高く・負担は低く」とあったが、負担が増え続けている。食品や電気代の値上がりは留まることを知らず、日々暮らしが厳しくなっている。水道は、嗜好品とは異なり我慢することで節約とはならない。そのような状況を、料金の値上げに理解を求める皆さんはどのように考えているのか。	サービス水準を低下させないために、これまで経営努力を行ってきた。この度の水道料金改定も、サービス水準を下げないためのものと考えている。引き続き経営努力を行っていき、できるだけ料金改定率は抑えていきたいと考えているので、何卒ご理解いただきたい。
12 (P28) (P29)	高齢者1人だと、1月8 m ³ くらいが平均的な使用量なのかと思う。8 m ³ でも今回の料金改定を見ると相当値上がりをする。口径13 mmの10 m ³ までの料金を福祉的な視点で安くするよう検討してもらえればと思う。(意見)	—

No. (説明資料 該当頁)	意見・質問	局の考え方（回答・対応）
その他		
13	市報 10 月号が本日自宅へ届き、特集ページを確認したが、料金改定の必要性等も分かりやすく説明している。もっと早く届いていれば、参加している皆さんも理解が進んだと思う。 全国的に独立採算は限界だと思うので、上部団体等様々な方の協力・知恵をいただいて、市民の負担が増えないように値上げを圧縮できるように検討して欲しい。（意見）	—
14	これだけの料金改定をしなければならない、ただし長府浄水場更新事業に 240 億円いりますというようなことで、納得されるのか。長期的な財政計画を広報誌などで定期的に示してほしい。（意見）	—
15	今日の会議の目的は説明だけなのか。我々の意見は反映されるのか。	上下水道局が、料金改定を検討しているということを、まず知ってもらいたい。また、なぜ料金改定が必要なのか、現在の検討状況がどうであるのかを、しっかりと知っていただきたい。意見については、経営審議会に報告する予定である。

※質疑・意見や局の考え方については、内容を要約・補足したものとしています。また、水道料金改定の検討状況に関係しない質問・意見については記載を省略しています。

3 説明会当日実施したアンケートの回答について（回答総数35名）

Q 1 本日の説明会により、水道料金改定の必要性について理解できましたか？

A 1 十分理解できた	2名（5.7%）
ある程度理解できた	26名（74.3%）
あまり理解できなかった	5名（14.2%）
全く理解できなかった	1名（2.9%）
無回答	1名（2.9%）

Q 2 その他、本日の説明会についてご意見がありましたらご記入ください。

A 2

【水道料金改定について】

- ・水道料金改定は理解出来ますが、もう少し上昇率を下げしてほしい。
- ・資本的収入の補助金を増やして、値上げの値をできるだけおさえる。また、企業債は、市が補填をして、不足分を補い、無利子とする。
- ・反対
- ・なんで早く水道料金を上げなかったのか？（税金が高くなるまえに）
- ・ほかに財源があれば（ボートレース代）国の補助金+水族館のうりあげ。
- ・市長はどのような考えをもっているのか。

【説明会の周知について】

- ・こういった重要事項を市報の片スミに入れて説明するといっても、誰も見ないと思います。
- ・十分な説明するためにも大々的に広げる必要がある。
- ・一回目は広報（市報）にお知らせがあったとのことですが、重要な内容にもかかわらずそのような案内だけで済まして実施（開催）するということはおかしいと思います。しっかりと自治会長会等をとおして案内すべきことではなかったでしょうか。
- ・今回は自治会長だけよんでいる。

【説明会の内容について】

- ・明文化した数字で説明してください。
- ・水道料金の改定について、いろいろな意見や要望が出て、何も知らない私にとっては、いろいろ勉強になりました。ありがとうございました。
- ・スクリーンが小さい、「ページ」の説明の仕方が悪い。
- ・数字が小さいうえに字がうすい。わかり切ったことにこんな立派なカラープリントの資料作りにお金を使ってほしくない！スクリーンでの説明で充分です。
- ・わかりやすい説明でした。こうした説明の場により市の信頼も深まると思います。今後も上水道のないところの多い豊北町で、塩味の井戸水や猛暑続きで井戸水の枯れてしまう家もあります。低所得者への配慮、値上げ後もひき続き努力していただきたい。安心安全な水は市内で公平に届けてほしい。
- ・自治会長として参加しましたが、会員に何をどの様に説明し理解を求めるのか？どう説明したらいいのか悩みます。
- ・やったやったの説明会かなと思った。
- ・長府浄水場の整備のようなもの独立採算で行うには限界がある。
- ・今後、独立採算やっていけるのか？
- ・水道事業は、人口減少により独立採算は無理である。
- ・物価が高くなる前に修理したらよかった。

【その他】

- ・今後も安心・安全な「水道」をお願いします。
- ・市長に各地の状況、水道行政の現状をよく説明され、政府要望の1項目に加えていただくよう努力していただきたい
- ・老朽化、耐震性にすぐれた水道管に変えることで今後の費用対策をお願いします。
- ・構造的に将来にわたって値上がが必要となる組織企業体は、改革する必要が有ると思う。人口減少は今後避けられない。受益者負担だけでは根本的に解決しないと考えます。国や地方行政機関の一部とすべき。当事者の方は大変と思いますが、検討願います。
- ・国の補助が必要と思う。